

# ◆ 全国合成版CS(集中豪雪)アラートで見る2022年12月18日～20日の大雪の範囲

2022.12.20 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

・ CS(集中豪雪)アラートとは、**気象レーダー観測に基づく、集中した大雪の範囲を示す指標**です。降雪強度分布の変化を監視することにより、**大雪が災害となる直前に検知と情報提供**するための技術です。最適な情報とするため、開発版から公開する形で改良を進めています。

・ Webサイトアドレスと2次元バーコード

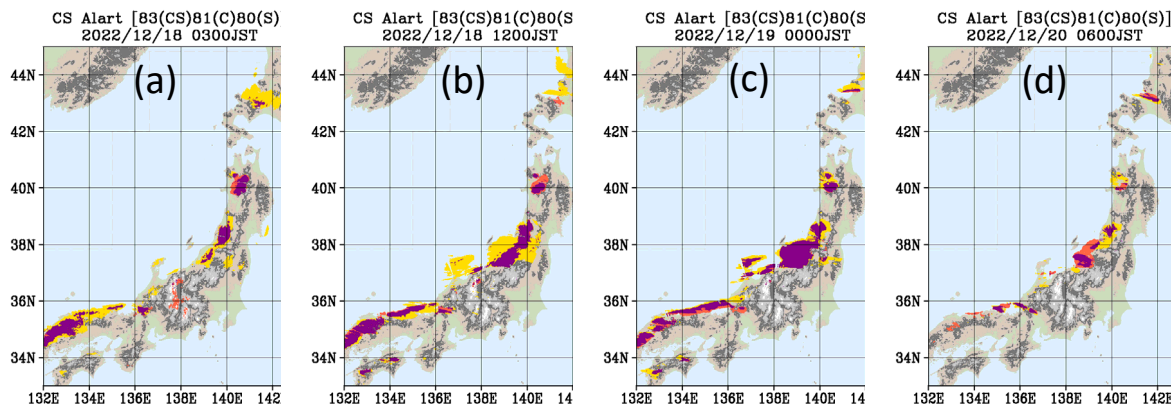
URL: [https://yukibousai.bosai.go.jp/sk/nr/csalert\\_gosei.htm](https://yukibousai.bosai.go.jp/sk/nr/csalert_gosei.htm)



・ 図の見かた(判定基準はまだ確定していません。)

- ここ数時間の急激な降雪量の増加
- 警戒の必要な強い降雪の継続
- 継続した多量の降雪による災害の危険

・ 18日3時(a)には新潟県の降雪量は多くありませんでしたが、**18日昼頃(b)には急激に強い降雪の範囲が拡大し、強い降雪が継続する地域も広がりました。**19日0時(c)には新潟県への強い降雪の集中が顕著で、終日継続した後20日6時(d)には範囲が縮小しました。



・ 現状はまだ災害となった地域を絞り込めない一方で、降水量推定不均一があり補正が必要です。補正技術に加えて、地域ごとの脆弱性を加味した判定基準の開発も進めています。

(上段)CS(集中豪雪)アラート：降雪開始から2日後、**大雪は限定的になってきたものの、特に新潟県では引き続き警戒が必要な状況**を示している。(下段)3時間積算の「固相」及び「液相」の推定降水量分布。

## 大雪の場所と広がり検知を目指して：CSアラート

防災科学技術研究所雪氷防災研究センター

大雪となるとき、めやすとして100km四方以内の範囲に降雪が長時間降り続くことがあり、雪氷災害の危険性を高めます。これを集中豪雪と呼んでいます。レーダー観測等に基づき、集中豪雪を検出する試みを行っており、このページは試行的なアラート計算出力を表示するものです。気象レーダーで観測された降水量を雪と雨に分け、雪の量から集中豪雪の指標を作成しています。

**現状、動作確認用出力です。地域によって降雪推定にばらつきがあり、その補正が課題です。アラートの基準はまだ確定しておらず、別途行っている解析によって変更されることがあります。この速報をご利用される場合は注意事項をご了承の上でお願いします。**

このプロダクトはXRAINデータを使用し、防災科学技術研究所が作成しています。

